

岩手県建設業企業年金基金だより

(令和7年3月17日号)

●令和6年度決算見込み及び令和7年度事業計画、予算(案)等を承認

2月27日に開催しました第17回理事会・代議員会合同会議において、令和6年度決算見込み及び令和7年度事業計画並びに予算(案)等について可決・承認されました。

主な議案内容は次のとおりです。

1. 基金の現況(令和6年12月末現在)

	令和6年12月末	令和5年12月末
事業所数	77事業所	78事業所
加入者数	1,753人	1,765人
年金受給者数	15人	13人
一時金受給者	112件	135件

2. 令和7年1月末現在の資産運用実績

区分	総合収益額	修正総合 利回り	時価総額	構成割合	基本アセッ トミックス	乖離幅
国内債券	▲323万円	▲2.72%	12,587万円	41.9%	45%	▲3.1%
一般勘定	20万円	0.21%	9,701万円	32.3%	30%	+2.3%
国内株式	100万円	2.87%	3,412万円	11.4%	11%	+0.4%
外国債券	40万円	3.01%	1,385万円	4.6%	5%	▲0.4%
外国株式	373万円	13.93%	2,932万円	9.8%	9%	+0.8%
短期資産	0万円	0.06%	8万円	0.0%	0%	+0.0%
基金合計	210万円	0.73%	30,025万円	100.0%	100%	

3. 令和6年度の資産運用見通し(令和7年1月15日時点)

	主要指標	令和6年12月末 (実績値)	令和7年3月末 (予想値)	運用利回り 見通し
国内債券	日本10年国債利回り	1.09%	1.15%	+1.2%
国内株式	日経平均株価	39,895円	40,000円	
外国債券	米国10年国債利回り	4.57%	4.60%	
外国株式	NYダウ平均株価	42,544 ^{ドル}	43,500 ^{ドル}	
為替	ドル/円	157.16円	155円	
	ユーロ/円	162.73円	158円	

4. 令和6年度決算見込み

令和6年12月末の基金の状況及び令和7年1月15日時点の運用利回り見通しを基に計算した決算見込みとなっています。

(1) 年金経理

損益計算書は、加入者の減少により掛金等収入が前年度に比べ減少の4,216万円、運用収益は運用利回り見通し+1.2%から336万円、1件当たりの給付額の増加から給付費・移換金を前年度に比べ増加の2,267万円と見込んでいます。

貸借対照表は、年金資産を29,863万円、資産合計額は30,565万円、責任準備金を29,497万円と見込んでいます。

実質の剰余金にあたるリスク充足額は、運用利回り見通しが目標を下回る見込みから前年度に比べ63万円減の1,650万円と見込んでいます。

決算見込損益計算書【簡易版】

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位:万円)

費用勘定			収益勘定		
科目	決算見込額	前年度決算額	科目	決算見込額	前年度決算額
給付費・移換金	2,267	2,111	掛金等収入	4,216	4,243
運用報酬等	133	121	運用収益	336	1,936
責任準備金増加額	2,152	3,925			
当年度剰余金	0	22			
合計	4,552	6,179	合計	4,552	6,179

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

決算見込貸借対照表【簡易版】

(令和7年3月31日現在)

(単位:万円)

資産勘定			負債勘定		
科目	決算見込額	前年度決算額	科目	決算見込額	前年度決算額
流動資産	701	705	未払給付費等	1,046	1,064
年金資産	29,863	27,726	責任準備金	29,497	27,345
信託資産	20,729	19,780	別途積立金	22	0
保険資産	9,135	7,946	当年度剰余金	0	22
総合計	30,565	28,431	総合計	30,565	28,431

科目	決算見込額	前年度決算額	科目	決算見込額	前年度決算額
財政悪化リスク相当額	1,692	1,692	数理債務	27,868	25,653
リスク充足額	1,650	1,713	未償却過去勤務債務残高等	0	0

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

(2) 業務経理業務会計

収益は、加入者の減少による事務費掛金収入の減少から 2,108 万円を見込んでいます。

費用は、事務費や業務委託費等の増加などにより前年度に比べ増加の 1,874 万円を見込んでおり、このことから当年度剰余金は 234 万円を見込んでいます。

決算見込損益計算書【簡易版】

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位:万円)

費用勘定			収益勘定		
科目	決算見込額	前年度決算額	科目	決算見込額	前年度決算額
事務費	879	796	事務費掛金収入	2,107	2,122
代議員会費	16	15	雑収入	1	0
業務委託費等	941	921			
固定資産の増加	0	19			
雑支出	37	32			
当年度剰余金	234	338			
総合計	2,108	2,122	総合計	2,108	2,122

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

決算見込貸借対照表【簡易版】

(令和7年3月31日現在)

(単位:万円)

資産勘定			負債勘定		
科目	決算見込額	前年度決算額	科目	決算見込額	前年度決算額
流動資産	4,137	3,832	流動負債	1,332	1,261
固定資産	37	37	基本金	37	37
			繰越剰余金	2,571	2,233
			当年度剰余金	234	338
総合計	4,175	3,869	総合計	4,175	3,869

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

5. 令和7年度事業計画

(1) 事業運営の重点事項

①年金資産運用

トランプ新政権が打ち出す政策が市場のリスク要因と考えられますが、信託銀行及び生命保険会社と連携し、必要な収益の確保に努めます。

②未加入事業所への加入勧奨

基金財政の安定化のために機会を捉えて新規加入事業所の獲得に取り組みます。

(2) 実施事業

①理事会・代議員の開催 2回(7月、2月)

②資産運用委員会の開催 2回(6月、1月)、状況に応じて随時開催

6. 令和7年度の年金資産運用基本方針

(1) 運用目的及び目標

給付金の支払いを将来にわたり確実にを行うため、必要とされる収益の確保を目的とし、長期的運用目標は予定利率1%と運用報酬0.5%を合わせた1.5%としています。

(2) 経済見通し

米国は、トランプ新政権が打ち出す政策がインフレ再燃を強め景気の下押し要因となることから低成長に留まると予想します。一方、日本は、賃上げを背景に個人消費は底堅く推移すると見られることから景気は緩やかな回復基調を想定します。

(令和7年1月15日時点)

	主要指標の見通し(令和8年3月末予想値)		期待収益率(令和7年度)	運用利回り 見通し +1.9%
国内債券	日本10年国債利回り	1.25% ~ 1.35%	0.5%	
国内株式	日経平均株価	39,500円 ~ 43,500円	6.2%	
外国債券	米国10年国債利回り	4.10% ~ 4.50%	1.9%	
外国株式	米S&P500	6,200 ㊦ ~ 6,850 ㊦	5.7%	
為替	ドル/円	143円 ~ 159円	—	
	ユーロ/円	145円 ~ 160円		

(3) 政策アセットミックスの検証

政策アセットミックスとは、運用目的を達成するため、投資対象資産の中長期的な期待収益率や標準偏差(リスク)等を考慮した最適な組み合わせとなる資産構成割合のことです。

検証結果は、中長期的な運用目標である収益率1.5%以上を確保していること、7年度の運用利回り見通しも目標を上回っていることから、現状の政策アセットミックスを維持します。

	期待収益率	標準偏差	中心値	許容範囲
国内債券	1.1%	2.1%	45%	40% ~ 50%
一般勘定	1.1%	0.0%	30%	25% ~ 35%
国内株式	6.6%	16.8%	11%	6% ~ 16%
外国債券	2.7%	8.5%	5%	0% ~ 10%
外国株式	7.1%	18.7%	9%	4% ~ 14%
合計	2.33%	3.61%	100%	

※期待収益率は、三井住友信託銀行が予想する向こう5年程度収益率です。

7. 令和7年度予算(案)

(1) 基礎数値

加入者数	年間平均加入者数を 1,753 人
年金受給者数	16 人
一時金受給者数	181 人
資産運用利回り	運用利回り見通し+1.9%

(2) 年金経理

基礎数値を基に算出すると、収益は掛金等収入が 4,207 万円。運用利回り見通しの+1.9%から計算した運用収益は 565 万円を見込んでいます。

実質の剰余金にあたるリスク充足額は、7年度の資産運用が目標を上回る運用利回り見通しであることから 135 万円増の 1,785 万円を見込んでいます。

予定損益計算書【簡易版】

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位:万円)

費用勘定			収益勘定		
科 目	令和7年度 推計額	令和6年度 決算見込額	科 目	令和7年度 推計額	令和6年度 決算見込額
給付費・移換金	2,393	2,267	掛金等収入	4,207	4,216
運用報酬等	142	133	運用収益	565	336
責任準備金増加額	2,166	2,152			
当年度剰余金	72	0			
総合計	4,772	4,552	総合計	4,772	4,552

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

予定貸借対照表【簡易版】

(令和8年3月31日現在)

(単位:万円)

資産勘定			負債勘定		
科 目	令和7年度 推計額	令和6年度 決算見込額	科 目	令和7年度 推計額	令和6年度 決算見込額
流動資産	701	701	未払給付費	1,091	1,046
年金資産	32,146	29,863	責任準備金	31,662	29,497
信託資産	21,860	20,729	別途積立金	22	22
保険資産	10,286	9,135	当年度剰余金	72	0
総合計	32,847	30,565	総合計	32,847	30,565

科 目	令和7年度 推計額	令和6年度 決算見込額	科 目	令和7年度 推計額	令和6年度 決算見込額
財政悪化リスク相当額	1,692	1,692	数理債務	29,971	27,868
リスク充足額	1,785	1,650	未償却過去勤務債務残高等	0	0

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

(3) 業務経理業務会計

基礎数値を基に算出すると収益は、事務費掛金収入が減少となるものの決算見込額と同額の2,108万円を見込んでいます。費用は、事務費や業務委託費の増加を見込んで決算見込額に比べて増額の1,968万円と見込んでいます。

予定損益計算書【簡易版】

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位:万円)

費用勘定			収益勘定		
科目	令和7年度 推計額	令和6年度 決算見込額	科目	令和7年度 推計額	令和6年度 決算見込額
事務費	940	879	事務費掛金収入	2,104	2,107
代議員会費	22	16	雑収入	5	1
業務委託費等	966	941			
雑支出	41	37			
当年度剰余金	140	234			
総合計	2,108	2,108	総合計	2,108	2,108

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

予定貸借対照表【簡易版】

(令和8年3月31日現在)

(単位:万円)

資産勘定			負債勘定		
科目	令和7年度 推計額	令和6年度 決算見込額	科目	令和7年度 推計額	令和6年度 決算見込額
流動資産	4,353	4,137	流動負債	1,408	1,332
固定資産	37	37	基本金	37	37
			繰越剰余金	2,805	2,571
			当年度剰余金	140	234
総合計	4,390	4,175	総合計	4,390	4,175

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

●iDeCo(個人型確定拠出年金)に加入している方へ

国民年金基金連合会から「企業年金登録情報との不整合のご案内」が届いています。

当基金への照会の多くがiDeCo登録情報の誤りによるものです(下のような表記)。この場合、案内文書の「iDeCo各種手続き・照会先」にお問い合わせをお願いします。

各制度の登録情報と不整合理由

iDeCo登録情報	C. 企業年金なし
企業年金登録情報	B. DBのみあり
不整合理由	A. 他年金制度加入状況不整合のため